

2019年度 事業報告

(第18期 2019年4月1日～2020年3月31日)

特定非営利活動法人お笑い事業団ニイガタ

I 2019年度活動の重点

1. お笑い出前推進事業 —高齢者健康増進（医療費削減）運動—
2. お笑いで世代間交流を深め活発な地域をつくる
3. 派遣先の拡大に向けた活動

II 実施事業

1. 芸人・講師 派遣事業

①「お笑い芸人」「お笑い講師」「お笑いチーム」等の派遣事業

各種団体・高齢者施設・行政の要請に応じて「お笑い使節団」芸人・講師を派遣した。

◆2019年度派遣実績・・・70回の出演、観客数3,289人、出演者143人

※2020年2月末から3月は全てキャンセルとなった。

年度	派遣回数	観客数
平成18年	13	520
平成19年	38	1,140
平成20年	58	2,030
平成21年	64	3,427
平成22年	57	2,760
平成23年	69	3,434
平成24年	82	3,952
平成25年	130	7,918
平成26年	94	4,817
平成27年	77	3,897
平成28年	84	4,089
平成29年	88	4,190
平成30年	81	4,740
2019年	70	3,289
計	1,006	50,203

◆上越では飯田恵輔会員が8回の出演を実施。派遣事業の拡大に寄与する。

◆定期公演の拡充

- (1)よろっとローサ（年18回）
- (2)いこいの家・老人福祉センター（年7回）
- (3)しもまちお互い様ランチ（年5回）

◆他

- ・イオン新潟南（10/25-27, 10名）
- ・キッズフェスタ2020（2/8-9, 8名）
- ・有志によるボランティア出演

◆コミ協、自治会、老人クラブへ派遣事業の広報活動（運営委員会で対応）

2. 「第19回 越後笑劇場」を開催 ※ 県民たすけあい基金助成事業。

◆11月23日（土・祝）午後1時より新潟ふるさと村にて開催。

より多くの県民へ笑いを提供していくことにより、健康で元気でになり、少しでも医療費の減少が、笑いを通じてよい効果があれば公共の福祉に貢献出来ることを目指して、「笑いで健康」をテーマに公演。多くの人から関心を

持ってもらい来場してもらうためプロ芸人として「ジャックポット」を招く。
出演芸人スタッフ総勢 17 名、観客数はのべ 116 名。

3. 「スキルアップ講座（お笑い発表会）」を開催 ※県民たすけあい基金助成事業
派遣事業の質を高めて、より「笑い」の効用を拡大するために指導者を招いて芸の
レベルアップを図った。全 5 回開催。のべ 44 名の芸人が受講した。

4. 交流事業

- ① 「新潟市市民活動支援センター」「新潟お笑い集団 NAMARA」「ウクレレ遊」
「新潟中央真向会」「ビバジイ」等と交流や連携を図った。
- ② 「お笑い交流会」を開催
 - ◆ 5 月 26 日（日）総会後に交流会（21 名参加）。
 - ◆ 2 月 2 日（日）新春交流会（20 名参加）
- ③ 「コミ協との交流会」に参加、10 月 7 日：新潟市東区のコミュニティ協議会へ
PR。（運営委員会で対応）。
- ④ 「イオン新潟南」にブース出店、10 名参加。10 月 25 日-27 日（3 日間）。
- ⑤ 「キッズフェスタ 2020」に出演、2 月 8 日、9 日：芸人 5 組出演）
ブースやステージで子どもたちから芸を体験してもらった。
- ⑥ 「おとなと子どもの食堂」へ芸人有志が出演。

5. 総会・理事会・運営委員会を開催

5 月 20 日	第 1 回定例理事会
5 月 26 日	社員通常総会
10 月 26 日	第 2 回定例理事会
4 月～3 月	月 1 回ペースで運営委員会を開催

6. 20 周年記念事業実行委員会を開催

2 月 21 日 第 1 回、3 月 23 日 第 2 回 を開催

7. 寄付、助成金等について

- (1) 2019 年度、県民たすけあい基金助成事業へ申請 → 採択される。
- (2) 今井誠相談役、平石千恵子会員よりご寄付をいただく。

III その他

(1) 会員の動向

退会 今井知枝さん、池田琢彌さん、渋谷昭彦さん、渡邊チズ子さん
入会 なし

2019 年度期末会員数：43（個人：40 名、団体：3 社）

以上